

# 消防年報

平成26年版

第59号



シンボルマーク 「ファイ太くん」

瀬戸市消防本部

## は　じ　め　に

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、地震、津波さらには原子力災害を伴う未曾有の大災害となりました。消防には、地域の安全安心を守ることに加え、これら大規模・広域災害や特殊災害に対する地域を越えた防災協力体制の確立が求められています。

この年報は、平成26年4月1日現在における消防体制及び平成25年中の災害状況等を収録し、今後の消防行政の効率的な運営と消防力の強化に資するとともに、消防事情を一般に紹介することを目的に編集したものです。

本市はこれからも、消防力及び消防体制の充実に努め、火災などの災害を未然に防止し、安全・安心が実感できるまちづくりに全力を挙げて取り組んでまいります。

消防関係者はもとより、この年報を広く活用いただければ幸いに存じます。

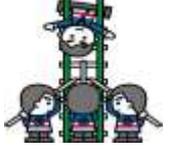
平成26年7月

瀬戸市消防本部

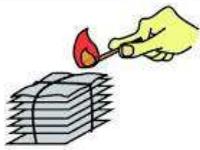
# 一 目 統 計

平成26年4月1日現在

面積・人口等 自然環境	面積	人口	世帯	気象 (H25年中)
				
	111.61k m <sup>2</sup>	131,698 人	53,546 世帯	年平均気温 15.8℃ 年平均湿度 68.0% 年間降水量 1,210 mm

消 防 予 算 構 成 人 員	消防予算	署所数	職員数	団員数
				
	11億7,003万円 市民一人当たり 8,884円	消防本部 1 消防署 1 分署 2	125人 (内女性2人)	238人 (内女性22人)

消 防 車 両 水 利	ポンプ車等	特殊車両等	救急車	水利
				
	タンク車3台 ポンプ車4台	はしご車等8台	高規格救急車4台	消火栓 2,978基 防火水槽等 521基 (その他の水利を含む)

災 害 件 数 (H25年中)	火災	主な火災原因	救急	救助
				
	57件 出火率4.3件/万人	放火・放火の疑い14件 こんろ5件 たばこ、たき火、火あそび、焼却炉が各4件	出動件数5,280件 搬送人員4,809人	出動件数67件 救助人員33人

予 防 消 防 関 係 団 体	防火対象物数	危険物施設数	消防同意数	消防関係団体
				幼年消防クラブ 26クラブ 少年消防クラブ 29クラブ 婦人防火クラブ 11クラブ 自衛消防連絡協議会 16事業所 危険物安全協会 364 会員
	4,879 件	製造所 1件 貯蔵所 232件 取扱所 117件	104 件	

## 平成25年度目標達成指標

指標	単位	基準値	目標値	実績値
出火率	件	5.2	4.3	4.3

※ 出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいう。

(P 2 5 参照)

指標	単位	基準値	目標値	実績値
救命率	%	20	23	40

※ 救命率とは、目撃のある突然心肺停止及びAEDの使用対象の救急患者のうち、(P 4 1 参照)  
1か月後に社会復帰できた割合をいう。

指標	単位	基準値	目標値	実績値
消防団員数	人	228	261	238

(P 7 参照)

指標	単位	基準値	目標値	実績値
消防水利の充足率	%	98	98.4	98.5

(P 1 6 参照)

指標	単位	基準値	目標値	実績値
火災による損害額	千円	120,601	111,000	43,391

(P 2 5 参照)

# 平成25年度のトピックス

## 1 瀬戸市消防団応援サポーター制度の創設

瀬戸市出身又は瀬戸市にゆかりがあり、経済、文化、教育、芸術、スポーツ、芸能など様々な分野で活躍されている方に瀬戸市消防団のPR及び消防団員確保を支援していただくため、「瀬戸市消防団応援サポーター制度」を創設しました。この第1号として、瀬戸市にゆかりがあるシンガーソングライターの佐藤梓（さとう あずさ）さんの任命式を平成25年12月16日に瀬戸市役所の市長公室で行いました。



## 2 救急ワークステーションの充実

公立陶生病院西棟の新築に伴い、新しい救急ワークステーションの執務室等が完成し、平成26年1月1日から運用を開始しました。これにより医療機関と消防機関が協働し、「救急業務の質」及び「災害対応力」の更なる向上をはじめとした、地域救急医療体制の充実を目指してまいります。



## 3 公立陶生病院の屋上ヘリポート完成に伴う合同訓練の実施

公立陶生病院西棟屋上に市内初となる防災ヘリ等が離発着可能な大型ヘリポートが完成しました。これに伴い平成25年12月4日に公立陶生病院、愛知県防災ヘリ及び瀬戸市消防本部が合同で離発着訓練を実施しました。



#### 4 消防救急デジタル無線の運用開始

瀬戸・尾張旭消防指令センターでは、平成26年3月1日から消防救急デジタル無線の運用を開始しました。従来のアナログ無線に比べ、通信エリアの拡大や無線チャンネル数の増加などの通信基盤の高機能化や、通信秘匿性の向上による安全な無線通信が可能になりました。

##### 仕様

デジタル波 260MHz帯使用

出力 10W/5W

運用波 活動波3波、主運用波1波、

統制波3波 無線鉄塔 地上高25m



#### 5 空中活動消防車の運用開始

消防署南分署に空中活動消防車を配備し、平成26年3月20日に運用を開始しました。この空中活動消防車は、15mクレーンに積載荷重200キロのバスケット、放水銃等を装備し、高所からの人命救助活動や塔上放水が行えます。また、4tクラスのシャーシで、大型のはしご車に比べ車体が小さいため、今まで進入できなかった住宅密集地や狭隘道路等での活動が可能となり、今後の活躍が期待されています。



# 目 次

## 【第1編】消防情勢（P1～10）

・5年間の市当初予算等と消防費	1
・平成26年度一般会計当初予算額	1
・平成26年度消防費の市民負担額	1
・消防本部・消防署・消防団組織図	2
・消防本部消防課の事務分掌	3
・消防署の事務分掌	4
・消防力の整備指針と現有消防力	5
・消防職員数	6
・消防団員数	7
・消防職員・団員数の推移	7
・消防職員・団員の平均年齢の推移	7
・消防職員派遣教養科目別実施状況	8
・消防職員研修実施状況	8
・消防職員・団員公務災害等発生状況	8
・消防本部車両運用状況	9
・消防団活動状況	10

## 【第2編】消防施設（P11～16）

・消防庁舎等設置状況	11
・消防車両等配備状況	12
・主な消防機器保有状況	14
・水防用資機材備蓄状況	15
・消防水利設置状況	16

## 【第3編】予防（P17～24）

・連区別防火対象物状況	17
・中高層建築物・地階用途別状況	18
・防火対象物等の推移	18
・防火管理者選任状況	19
・防火管理講習実施状況	19
・危険物施設等連区別設置状況	20
・危険物施設に関する申請等の件数	20
・危険物施設等の10年間の推移	21
・消防関係団体	
瀬戸市危険物安全協会	22
瀬戸市自衛消防連絡協議会	22
瀬戸市婦人消防隊連絡協議会	23
瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会	23
瀬戸市幼年消防クラブ	24
防災会	24

## 【第4編】火災統計（P25～34）

・平成25年中の火災発生状況と前年との比較	25
・原因別・用途別火災状況	26
・初期消火実施状況調	26

・ 出火原因別（発火源・経過・着火物）火災発生件数	27
・ 署所別・連区別火災状況	28
・ 曜日別・月別火災状況	29
・ 天候別火災状況	29
・ 時間別火災状況	30
・ 10年間の火災状況	31
・ 10年間の出火件数と住宅火災件数及び損害額の推移	31
・ 10年間の住宅火災の状況	32
・ 10年間の住宅火災における出火原因別件数	32
・ 10年間の住宅火災における時間別死傷者数	33
・ 10年間の住宅火災における年齢別死傷者数	33
・ 10年間の主な火災	34
<b>【第5編】 救急・救助統計（P 35～44）</b>	
・ 事故種別救急出動件数及び搬送人員	35
・ 署所別救急出動件数	36
・ 連区別の老年人口率と救急搬送率	36
・ 曜日別・月別救急出動件数	37
・ 時間別救急出動件数	37
・ 傷病程度別搬送人員	38
・ 年齢区分別搬送人員	38
・ 急病にかかる疾病分類別搬送人員調	39
・ 事故種別医療機関別搬送人員調	39
・ 救急隊員の行った応急処置状況	40
・ 応急手当普及啓発実施状況	40
・ 救命率の推移	41
・ バイスタンダーCPR実施状況	41
・ 10年間の現場到着平均所要時間の推移	41
・ 10年間の救急出動件数	42
・ 急病・交通・一般負傷の出動件数10年間の推移	42
・ 事故別救助出動状況	43
・ 連区別救助出動件数	43
・ 発生場所別救助人員	44
・ 10年間の救助出動件数	44
<b>【第6編】 通信・気象（P 45～48）</b>	
・ 消防指令センターの主な施設状況	45
・ 月別119番受信状況（受信時の種別）	45
・ 無線施設状況	46
・ 月別気象状況	48
・ 天候別日数調・月別気温状況・月別湿度状況	48
<b>【第7編】 資料（P 49～53）</b>	
・ 消防本部の沿革	49
・ 消防相互応援協定	53

# 市 勢 概 要

瀬戸市は、中部経済圏の中心地である名古屋市の中心から北東約20 kmに位置し、東西12.8 km、南北13.6 kmのほぼ円形を示し、面積111.61 km<sup>2</sup>の行政区域を有しており、緑豊かなまちです。

瀬戸といえば、やきものまち。その代名詞となる「せともの」には、1,300年の歴史と伝統が息づいています。

本市の都市戦略の要となるのが「せと・まるっとミュージアム」であり、国際博覧会で芽吹いた市民の力が一層発揮できる舞台づくりに取り組み、人々が集い、交流し、学ぶことにより、躍動感あるまちづくりを市民の皆さんと一緒に進めています。

項目 年別	変 遷	面 積 (km <sup>2</sup> )	人 口 (人)	世 帯
昭和 4 年	市 制 施 行	28.01	31,276	6,916
昭和 2 6 年	水野村合併	50.67	54,779	11,670
昭和 3 0 年	幡山村合併	71.36	64,681	13,588
昭和 3 4 年	品野町合併	110.34	79,449	16,636
平成 2 6 年	4月1日現在	111.61	131,698	53,546



※ 「おもてなしのこころ」にあふれた交流盛んなまちを象徴するシンボルマークとして平成13年度に公募・決定しました。『まるっと』とは「全部、まるごと」を意味するこの地方のことばです。